

## 平成 30 年度第 8 回 FD・SD 研修会報告

日 時：平成 31 年 2 月 15 日（金）11:00～12:00

講 師：美術学科 教授 権田 宜子

幼児教育学科 教授 森田 ゆかり

ビジネス実務学科 教授 瀬戸 就一

テーマ：中間管理職研修会報告～提案～

10 月 23 日の「中間管理職研修の経過報告」以降さらにメンバーで検討を重ね最終提案を行いました。事前に全教員に書籍『地方小規模私立大学 偏差値による進路選択からの脱却』より北陸大学の改革に関するページを資料として配付しました。課題山積みの大学があらゆる学生に成長の可能性があることを本気で信じ、教員の本分である「教育」により改革を進めたことに強く共感したからです。その方法にもヒントが多く含まれています。

まず、「学生が自立をめざすように」教員が手間暇をかけること、3 学科の良さはそれぞれですが、短大全体が目指す学生像（どのような力を身に付けさせるか）をより明確にし、共有することの必要性を再確認しました。それを実現するために短大全体としてどのような教育システムを構築するのか、組織的な取り組みを実践するために教員個人の過剰な負担をどのように軽減するのかという視点から、以下の提案を行いました。

1-1 短大全体の教育コンセプトを明確にする。

1-2 全学科共通の教育システムを導入（1 年次「基礎教育科目」の導入、2 年次「専門科目」の改革、「学外活動」、学科間交流、学年間交流など）

2 クラスの枠組みを超えた教員組織をつくる（週 1 回の担当者ミーティングなど）

3 地域ポータルセンターの設置

参加者からは多くの貴重な意見をいただきました。具体的な実施方法については 3 学科それぞれ異なりますが、今後、現行の科目や取り組みの見直し・内容の充実を図り、全学科共通の教育システムに位置づける工夫が必要になります。中間管理職メンバーが中心になり「教員全員で」教育の質を高め、社会から信頼される短大を創っていきましょう。

